

自動車用リビルト部品-リビルトプロセスに関する要求事項を規格化 ～日本規格協会のJSA規格として発行される～

自動車用リビルト部品の製造・販売を行う株式会社アーネスト（所在地：埼玉県吉川市、代表取締役社長：大川恵司、以下アーネスト）は、自動車用リビルト部品の信頼性を向上させ、より一層の普及を図ることを目的に、一般財団法人日本規格協会（本部：東京都港区、理事長：揖斐敏夫、以下日本規格協会）のJSA規格開発に応募し、JSA-S1005：2020「自動車用リビルト部品-リビルトプロセスに関する要求事項」として、2020年6月30日に発行されました。

■JSA-S1005 規格開発グループ会議

このJSA規格は、アーネストが開発主体となって、国内の学術機関、自動車メーカー及び部品メーカー、の専門家18人からなる規格開発委員によって、JSA-S1005規格開発グループ会議（座長：熊本大学外川健一教授）が構成され、2019年12月からの審議を経て決定されました。

■JSA-S1005 の規格開発の背景

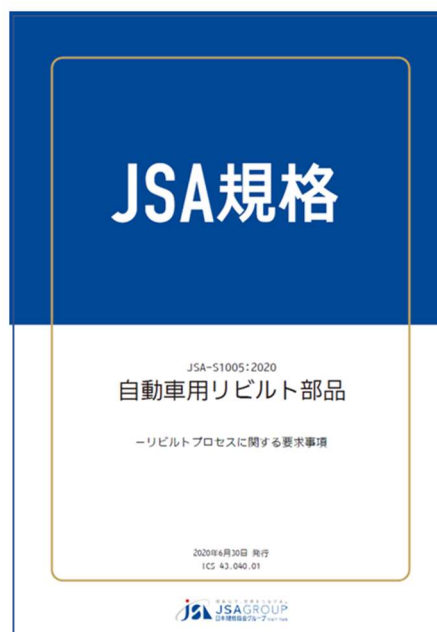
自動車用リビルト部品とは、使用済みの自動車から取り外した部品を分解ができる構成部品まで確実に分解し、洗浄、検査、補修・交換、組立、性能検査を経て、完成品として再び世の中に送り出される信頼性の高い自動車用部品のことです。

このJSA規格は、使用済みの自動車部品をリビルトして有効に活用するもので、自動車リサイクル法（使用済み自動車の再資源化等に関する法律：平成十四年法律第八十七号）の目的に沿ったものです。この法律では自動車の所有者の責務として、「自動車の修理に当たって使用済自動車の再資源化により得られた物又はこれを使用した物を使用すること等により、使用済自動車の再資源化等を促進するよう努めなければならない。」ことが規定され、自動車ユーザーには再資源化された物を使用することを努力義務化しています。

しかしながら、自動車用リビルト部品の名称を用いた海外からのイミテーション部品や粗悪部品の流通により、自動車のユーザーは元よりディーラーや修理・整備事業者、流通に携わる代理店・部品商の不信・不満が解消せず、リビルト部品などの再資源化製品を使用すると言う、リサイクル法の趣旨を十分には反映できていませんでした。

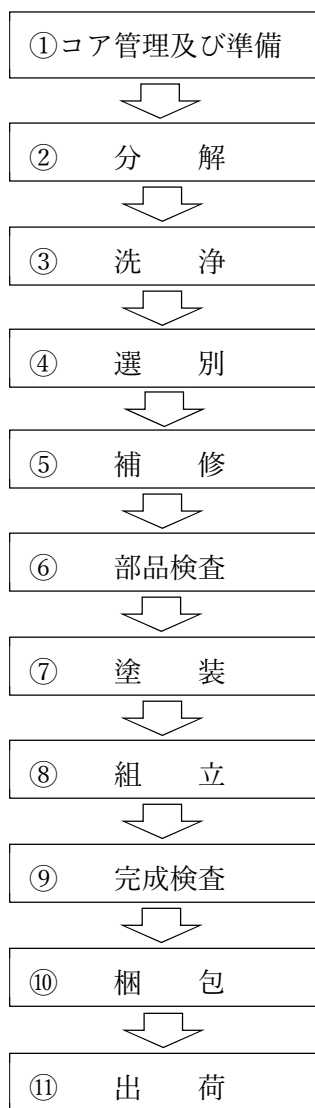
■JSA-S1005 の開発経過

自動車用リビルト部品の規格化は、これまで行政を含む多方面で議論されてきましたが、アーネストは自社の11工程の生産プロセスを規格化することで信頼性の高い製品づくりに寄与できると考え、2013年に英国規格協会（BSI）に「リビルトプロセスの生産ラインの規格化」を提案しました。BSIは、2013年9月からイギリスを中心に、欧州と日本の学術機関及び業界など20団体の専門家に規格の審議を依頼し、2014年1月にPAS3100「Remanufactured automotive parts. Specification for a process control system/再製自動車部品-工程管理システムのための仕様」として決議され、英文によるグローバル



な公開仕様書として制定・発行されました。

以降、アーネストは自動車用リビルト部品の信頼性向上に取り組んできましたが、国内の自動車用リビルト部品全体の信頼性を更に高めるには邦文での規格発行により、リビルト事業者は元より、広く一般にも認知されることが必要と判断して、国内向けとしてPAS3100を一部修正し、日本規格協会にて邦文版のJSA-S1005「自動車用リビルト部品-リビルトプロセスに関する要求事項」として発行されるに至りました。



プロセスフロー図

■JSA-S1005 規格の要点

JSA-S1005 では、使用済みの自動車から取り外した部品をリビルトするために、11の工程からなる生産プロセスで生産することを明確にしています。各ステージには、作業上の要求事項や安全対策上及び環境保護上の要求事項が明確化されています。

基本的なリビルトプロセスフローは、左図に示す生産の流れとなり、リビルト部品の生産工程は、図に示す少なくとも作業ステージ①、②、④、⑥、⑧、⑨及び⑩の工程でリビルトすることが必要で、この工程を省いたものはリビルト部品とは呼べないとしています。また、作業ステージ③、⑤、⑦及び⑪については、リビルト事業者の判断で削除することができます。作業ステージの順序変更は可能で、セル生産のように独立した方式で実施するか、ライン生産のように連続若しくは半連続的な方式で実施するか、またはそれらを組み合わせた方式で実施するかは、リビルト事業者が決定できるとしています。

また、JSA規格書の解説には数多くある自動車用リビルト部品の品目ごとのリビルト内容、各作業ステージに必要なスキル、工具・装置類などを取りまとめた詳細な資料を附属しています。

規格発行に当たり、アーネストの永塚政義会長は「JSA-S1005は、自動車ユーザーの皆さんに安心安全な自動車ライフをお届けするためのJSA規格です。そのリビルト部品をつくるために、やるべき内容を要求事項としました。ユーザーの皆さんやリビルト業界の生産や流通に係わる多くの方々に、この規格を知って頂き、自動車リサイクル法の趣旨に沿って生産したリビルト部品をお使い頂くことで、Co2削減など環境保全への貢献とリビルト業界の発展を願っています。」と話しました。

このJSA規格JSA-S1005は、日本規格協会のHPから検索できます。

<https://www.jsa.or.jp/dev/jsas>

お問い合わせ

株式会社 アーネスト

新規規格室室長 望月康政

E-mail: mochizuki@rap-honest.co.jp

URL: <http://www.rap-honest.co.jp>